

事務事業名	交通安全施設整備事業	所属部	総務部	所属課	総務課
政策名	総合計画体系 (II) 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	選挙・法務G	課長名	稲田和久
施策名	(14) 交通安全の推進	担当者名	茂富加奈子	電話番号 (内線)	0854-40-1021
基本事業名	(041) 交通安全施設の整備	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 110 015 415 012		交通安全施設整備事業

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	ガードレール、カーブミラー、区画線など道路環境の維持・改善を行う事業である。 交通安全対策特別交付金を基に、総務課で一括予算化し、年度当初に各総合センターに予算を振り分ける。	交通安全施設の整備・更新を目的とし、合併前から実施されている。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
交通安全対策特別交付金を基に、総務課で一括予算化し、年度当初に各総合センターに予算を振り分ける。	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	5,400	5,400	5,400	5,400		
事業費計 (A)	千円	5,400	5,400	5,400	5,400	0		
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数	人	1	1	2			
	延べ業務時間	時間	8	8	93			
	人件費計 (B)	千円	31	31	367	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,431	5,431	5,767	5,400	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	・予算確保、配分 ・打合せ会の開催と現場確認								
24年度計画(24年度に計画している主な活動)	⑤ 活動指標								
・予算確保、配分 ・打合せ会の開催と現場確認	ア 打合せ会と現場確認	回	8	8	8	10			
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	雲南市民	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)	
	⑥ 対象指標									
ア 人口	人	42,402	41,917	41,159	41,032					
イ										
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	交通安全施設を整備し、道路の交通安全環境を向上させる。	⑦ 成果指標								
		ア カーブミラー設置箇所数	箇所	24	16	21	20			
		イ ガードレール設置箇所数	箇所	0	16	16	18			
ウ 区画線設置箇所数	箇所	5	17	17	18					
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	安全で快適な交通環境づくりの推進に努めます。	⑧ 上位成果指標								
		ア 交通事故発生件数	件	1167	1191	1132				
イ 交通事故による死傷者数	人	107	65	87						

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
交通安全施設整備は、市内各地から要望されている。(地域要望、交安協など) 近年は通学路の安全確保に関心が集まり、学校からの要望もある。しかしながら交付金は年々減少しており、この事業の今後の予算削減は避けられない。	特になし。	地域要望としては、横断歩道設置や停止線設置等の要望が多く寄せられる。また、吉田町まで高速道路が開通したことにより、IC周辺の歩道整備などの要望も出ているが、この事業の予算では対応できない。

事務事業名	交通安全施設整備事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↘ 交通安全施設の整備充実を図っており、結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↘ 市道における整備であり、市が行なうべきものである。(特別交付金)
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↘ 市道における交通安全施設が対象であり、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↘ 危険箇所を整備することにより事故件数が減少すると見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↘ 交通安全施設の整備・更新を怠ると、交通安全に支障が発生する。また、交通安全対策交付金は一般財源扱いとなっているが、使途について追跡調査があり、事業を廃止することはできない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↘ 交通安全施設に限った交付金であり、単独でできる整備事業はこれだけである。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 地域要望が多く、削減は困難である。実際、交付金だけではまかないきれしていない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 現状では、各総合センターへ予算配分し、それぞれで執行しているが、どこかが一括管理し、執行すれば削減余地はある。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↘ 各総合センターの事業計画によって予算配分しているが、市全体の計画としてのバランスやレベルは精査されていない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	総務課で年度当初に一括予算化しているが、総合センターへ予算を振り分けた後は、各総合センターの裁量で整備することになる。 配分の仕方や、総合センター縮小後の一括管理の仕方など検討の必要あり。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下	維持		×		低下			×
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持	●		×																									
低下	維持		×																										
	低下			×																									
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 交通安全の所管は総務課であり、交通安全対策交付金の名目上、総務課の事業として予算化されている。しかし、実際に現場を管轄するのは各総合センター事業管理課であり、実態把握が難しい。総合センター縮小後の対応についても、協議の必要あり。																													